



文鮮明天地人眞の父母天宙聖和3周年記念行事祝勝会

眞の父母様「生が尽きる日まで責任を果たす誇らしい子女になること」祝願

天宙聖和3周年記念行事祝勝会が天曆7月18日(陽曆8.31)、天正宮2階チャペル室で天地人眞の父母様を中心に、眞の家庭、特命総使、大陸会長をはじめとする統一家世界指導者、摂理機関職員ら500余人が参加して開催された。

聖和3周年に対する精誠と苦勞賞賛

眞の父母様は、同日の祝勝会のみ言葉で「皆さん、これまで(天宙聖和3周年記念行事を)精誠を捧げて準備し、多くの苦勞をされたことに対して感謝します。昨日も話したように、今後、お父様に記憶される孝子、孝女、忠臣となるためには、地上に生きている皆さん、祝福家庭が責任を持つべきです。それを昨日、お父様に約束したのです」と激励された。

続いて「今日は祝勝会なので歌いましょうか」と尋ねられたが、海外指導者が「Yes、Mother!」と答えた。眞のお母様は、「一つの世界を実現するためには、言葉が通じなければなりません。子女は父母が語る言葉を聞き取ることができなければなりません。皆さんが子女であれば『Yes、Mother!』ではなく『はい、お母様!』と言わなければなりません」と語られ、微笑んで韓国語の勉強を強調され、参加者は拍手で応えた。眞の父母様はまた、「これまでいろいろと心がかなり重かったですが、今日はとても心が軽く幸せです。報告にも出たように、3,500人以上の青年学生、未来指導者らの熱気を私が直接見ました。特にトップガン修練を受けた200人余り、未来の中心的本流に乗って、世界摂理をすることができる指導者候補者を見たとき、非常に希望的です」と統一家の明るい未来を展望された。

最後に眞の父母様は、「天の父母様の夢であり天地人眞の父母の夢、それは70億人類が一つの家族になって眞の父母に侍ることです。祝福された皆さんと指導者が必ずしなければならぬ使命です。皆さん、



1. み言葉を語られる眞のお母様
2. 勝利祝賀ケーキカットされる眞のお母様
3. 『愛しています、あなたを(お父様)』を歌われる眞のお母様と代表指導者
4. 勝利報告する柳慶錫韓国会長
5. 勝利報告する宋龍天日本総会長
6. 勝利報告する趙誠一世界本部事務総長
7. 天宙聖和3周年記念行事祝勝会の全景



生が尽きる日まで『全てなした。責任を果たした』と言うことができる誇らしい子女になることを願います」と祝願した。

み言葉を終えた眞のお母様は、「今日の行事で報告した人たち、出て来なさい。一緒に歌いましょう。私たちは、このように幸せな人々です」と、7人の代表指導者と一緒に『愛しています、お父様』を歌われた。

各摂理機関天宙聖和3周年勝利報告

この日の祝勝会は、天宙聖和3周年組織委員会・宋龍天共同実行委員長の司会で、眞の父母様の入場、ケーキカット、花束奉呈、敬礼、柳慶錫共同実行委員長の報告祈禱、礼物奉呈、摂理機関勝利報告、眞の父母様のみ言葉、アン・ジュンソク共同実行委員長の億万歳三唱の順で進行された。柳慶錫共同実行委員長は報告祈禱で、鮮鶴平和賞、World Summit2015、ピースロード2015大長征など天宙聖和3周年記念行事として行われた主な

行事の摂理的意義を天の前に報告し、「すべての勝利の背景には、天宙聖和3周年を迎え、眞の父母の勝利的業績とみ旨を完全に表わすための統一家食口の汗に滲んだ精誠と実践があったことを覚えてください。何よりも、天のみがご存知で、天だけが慰勞することができるお母様の涙と精誠、そして摂理的経綸があったことを忘れないようにしてください」とし、「中断なき前進」で摂理を導いて来られ、明るく澄んだ光を照らして下さった眞のお母様に深く感謝を捧げた。続いて眞のお父様天宙聖和3周年を前に、各大陸で準備した感謝の礼物を奉呈する時間を持った。韓国協会、日本協会、アジア大陸、北米大陸、中米大陸、南米大陸、欧州大陸、中東大陸、オセアニア大陸、アフリカ大陸、東北大陸、中和大陸の順に精誠を込めて準備した礼物を奉呈し、天に喜びと栄光を捧げた。

摂理機関の報告は時間の関係上、7つの主要摂理機関が代表で報告した。世界本部(趙誠一事務総長)、韓国協会(柳慶錫会長)、日本協会(宋龍天日本総会長)、鮮鶴平和サミット(トマス・ウォルシュUPF世界会長)、ピースロード(孫炳浩会長)、眞の父母経出版記念式(金錫柄院長)、メディア活動(安豪烈財団本部長)の報告が行われた。一方、宋龍天日本総会長は活動報告を終えて「8月26日、日本政府から宗教法人世界平和統一家庭連合に宗教名称を変更する快挙をなし遂げた」と報告し、参加者らは大きな歓声と拍手で喜びを分かち合った。この他にも、天宙聖和3周年を迎え、世界平和女性連合、天宙清平修練苑、ワールドCARP、韓国CARP、世界平和武道連合、鮮文大学校文鮮明研究院、統一思想研究院、世界平和教授協議会、世界平和トンネル財団、世界日報、自願奉仕愛苑などが主催する記念行事が企画・進行された。<記事提供: 企画広報局>

天宙聖和3周年記念真の父母経出版記念開催

真の父母様「3大経典は全体摂理の真髓であり加減できない中心」と強調



1.み言葉を語られる真のお母様
 2.真の父母様と真の父母経が奉呈した文善進世界会長と朴仁涉世界副会長夫妻
 3.真の父母様と真の父母経を下賜される13大陸代表者
 4.真の父母経出版記念の全景

世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)天一国経典編纂委員会主催・天宙聖和3周年記念「真の父母経出版記念式」が天曆7月19日(陽曆9.1)、真の父母様に侍り文善進家庭連合世界会長夫妻をはじめとする国内外の指導者900人余りが参加して天宙清平修練苑大講堂で開催された。

経典の重要性強調・

み言葉編纂委員会の苦勞賞賛

真の父母様は、『天一国経典』出版記念式のみ言葉でまず、「天宙聖和3周年記念式で、お父様にこれまでのご苦勞に感謝し、今、地上の荷はすべて私たちに任せて、永遠の本郷苑で天の父母様に慰勞と頌榮になられ、自由になられることを懇切に祈禱しました」と記念式のみ言葉を思い出された。

続いて「今日このように、天一国3大経典最後の『真の父母経』を3カ国語で完成させたことは、非常に祝賀する日であり感謝する日です。『真の父母経』はもちろんのこと、3大経典編纂において、今までご苦勞された編纂委員会の委員と教授そして参加した方々に感謝申し上げます。祝賀します」と励まされた。

真の父母様は、「天は始まりと終わりが同じです。天の父母様の目的は、真の父母様の目的と同じです。そのため、真の父母様のみ言葉は、草創期から今日まで同じです。表現において、その時代に合わせて少し異なることもありますが、中心の内容は一つです。天の父母様と真の父母様の目的が一つだからです。多くの経典がありますが、『天一国3大経典』こそ父母様の全体摂理歴史の真髓です。エキスです。もはや加減することができない完璧な宝石です」と強調された。

最後に真の父母様は、「天宙聖和以来、3年間、この日に全力投球したのは、人類を愛され人類を抱こうとされる天の父母様と真の父母様の愛の力があつたことを、皆さんは知らなければなりません。そのため、ここでは加減はありえません。中心です。誰が何を如何にすることもできません。完璧です。皆さんは今日、3大経典という空前絶後の宝石を持ちました。祝賀します。ありがとうございます」と語られた。(3面に続く)



1. 眞の父母經を奉呈する文善進世界会長と朴仁涉世界副会長
 2. 記念の辞を語る金榮輝編纂委員長
 3. 報告祈禱をする柳慶錫韓国会長
 4. み言葉訓読をする鄭元周首席補佐官
 5. 経過報告をする金錫柄院長

6. 発刊の辞を語る李載錫編纂委員長
 7. 祝辞を述べる金玟河世界日報会長
 8. み言葉を語られる眞のお母様と参加した全世界指導者
 9. 眞の父母經出版記念祝賀餅カットの場面

3大經典の歴史的・摂理的価値

この日の出版記念会は、趙光明清心神学大学院大学総長の司会で、開会宣言、柳慶錫韓国会長の報告祈禱、鄭元周首席補佐官のみ言葉訓読、金榮輝天一國經典編纂委員長の記念の辞、金錫柄歴史編纂委員会院長の経過報告、李載錫副委員長の発刊の辞、金玟河世界日報会長の祝辞、花束奉呈、文善進世界会長夫妻の『天一國經典』奉呈、孫炳禹・タイラー・ヘンドリックス会長の記念品奉呈、『眞の父母經』下賜(13大陸)、眞の父母様のみ言葉、祝賀餅カット、宋龍天日本総会長の勝利提議、午餐、祝賀公演、金起勲北米大陸会長の億万歳三唱、閉会宣言の順で進行された。柳慶錫会長は報告祈禱で、「2013年6月10日、『天聖經』と『平和經』が眞の父母様の前に奉獻され、それから2年余りの深い精誠と刻苦の後に、今日、このように『眞の父母經』の出版記念式と奉呈の時間を迎えることとなりました。眞の父母様聖誕以降、摂理を最終完成されるまで、経綸された1万5千余りの摂理的主要事件は、その一つ一つが許しと愛の歴史でした。眞の父母様の人生が完全に証された眞の父母經を通して、統一家の全食口と75億人類すべてに悔い改めの役事が行われるように導いてください」と願った。続いてみ言葉訓読で鄭元周首席補佐官は『眞の父母經』第12編「世界平和統一家庭連合創立と女性時代摂理」のみ言葉の中から抜粋した部分を訓読した。金榮輝編纂委員長は記念の辞で「今日、この式典は眞の父母様の伝統と

偉業を伝承するための最初の作業であった天一國經典を終える意義深い場である。『天一國經典』は、復帰摂理を完成するために天上と地上に宣布された7百余巻に及ぶみ言葉の中から、宝石のような中核を選んで一目瞭然と取り入れた眞の父母様が残された血と汗と涙の最終報告書である」とし、『天一國經典』の歴史的・摂理的価値を強調した。続いて「天一國經典が刊行され、人類に代々伝承することができるようになったことについて、無限の喜びを感じる。眞の父母様のみ言葉に触れ、み言葉通りに生きることができる道が開かれ、誰もが眞の父母様の道の後に続く生を送ることを願う」と述べた。

摂理史的自叙伝・天一國民の道案内

金錫柄院長は経過報告で「眞の父母様の特別な指示と関心、そして愛の中で『眞の父母經』が2年7ヵ月ぶりに編纂された。『天一國經典』は、摂理史的な自叙伝であり、み言葉と地文、実録で構成された天一國民の道案内の役割をすることになるだろう」と語った後、天一國經典の編纂原則、編纂過程、翻訳過程などについて詳細に報告した。李載錫編纂副委員長は発刊の辞で「『天一國經典』は、眞の父母様のみ言葉と生涯を収録した經典で、全人類に下賜される偉大な遺産である。眞の父母様は復帰の道を開拓し勝利された証言書として、『天一國經典』は人類が行くべき生の典型を明らかにしている。また『眞の父母經』は基元

節こそ復帰摂理歴史を終結し、実体天一國出発の起源となる日として、眞の父母様の最高・最大の業績であることを知らせている」と伝えた。金玟河世界日報会長は祝辞で、「永遠に伝承する貴いみ言葉と業績を盛り込んだ『眞の父母經出版記念式』を持ち、祝賀の辞を申し上げる。大役事を発想して決断された眞のお母様とそのみ旨を奉じ努めた金榮輝委員長をはじめとする編纂委員にも感謝する」と語った。続いて「総裁ご夫妻は生涯を通じて、苦難と栄光を共にされ、この瞬間にも一つになって摂理を経綸していかれる。私たちはすべて一つになって、眞の息子・娘として与えられた使命と責任を果たそう」と促した。一方、眞の父母様は、文善進世界会長と朴仁涉世界副会長夫妻から『眞の父母經』を奉呈され、孫炳禹副委員長とタイラー・ヘンドリックス英語翻訳委員長から記念品を奉呈された。続いて眞の父母様は、韓国、日本、北米、中米、南米、アジア、中華圏、中東、欧州、東北、西アフリカ、東アフリカ、オセアニア大陸会長に『眞の父母經』を下賜された。午餐は、宋龍天日本総会長の勝利提議で始まった。午餐中には、室内楽団のピアノ5重奏、ソリスツ・アカペラグループの公演、ミュージカル『そのみ言葉、宝石として輝こう』などの慶祝公演が行われた。慶祝公演後、眞のお母様は『愛しています、あなたを(お父様)』を歌われ、参加者らと『天一國經典』編纂の喜びを分かち合う和動の時間を持たれた。この日の行事は、金起勲北米大陸会長の億万歳三唱で終了した。〈記事提供：企画広報局〉

真の父母様主管天一国指導者特別総会Vision2020出征式開催

「国家復帰のための全力投球」願い天一国指導者決議文奉呈

「天一国指導者特別総会Vision2020出発式」が天曆7月22日(陽曆9.4)午前11時、真の父母様に侍り世界平和統一家庭連合・文善進世界会長と朴仁涉世界副会長、世界平和女性連合・文妍娥世界会長、文薫淑ユニバーサル文化財団理事長をはじめ、全世界13大陸会長と特命総使、120宣教国代表指導者など550人余りが参加して、天宙清平修練苑大聖堂で開催された。

天一国指導者が担当すべき国家復帰の使命

真の父母様はこの日、出征式のみ言葉でまず「皆さんは天一国指導者です。皆さんの決断を聞いて、私は信じてみようと思います」と、世界から来た天一国指導者を激励された。

真の父母様は歴史上、キリスト教基盤を持って出てきた欧州大陸に対する宣教の重要性を強調した後、平凡な田舎の少女で16歳のときに神の声を聞いて、英国との戦争で祖国フランスを救い、皇帝を擁立した英雄ジャンヌ・ダルクのエピソードを紹介され、「Vision2020に対する皆さんの決心がジャンヌ・ダルクよりできなくてはなりません。天の父母様の夢であり真の父母様の望みは、人類を真の子女として抱くことです。ジャンヌ・ダルクは国を救いましたが、皆さんは世界を救い、天の父母様の夢と真の父母様の望みを叶えなければなりません」と言われた。

続いて、真の父母様は、「墮落した世界の痕跡がない、真の父母によって本来、神様がなし遂げようとされた本郷の地上天国と天上天国をなさなければなりません。皆さんは、真の父母様と一緒に歴史的かつ世界史的な使命を果たさなければなりません。未来の子孫が永遠に崇拜する真の孝子・真の孝女・真の忠臣の位置、さらに真の主人の位置に立つことができる天一国指導者であることを覚えておいてください」と語られた。

また、真の父母様は、欧州とアフリカと南北アメリカ大陸の伝道組織と責任者の使命に対する指針を下さり、特に南米大陸は、青年が国家復帰をすることができる基盤を造成できるように、「青年運動とCARP活動を活性化すること」を指示された。

続いて「ニカラグアの摂理が重要です。ニカラグアは(中南米の)共産化を防ぐための最後の砦だったため、お父様はダンバリーの苦難という困難な状況の中で、その国を支援されました。ニカラグアは父母様に負債があり、感謝の意として今回、その国の首都マナグア国立大学で人文学名誉博士号を奉呈しました。ニカラグアで摂理の実を結ばなければなりません」と国家復帰の重要性を強調した。

最後に真のお母様は、「全世界の大陸会長と(特命)総使、そして特使はそれぞれ、担当した国家復帰のために全力投球しなければなりません。そして必ずVision2020を勝利して、天の父母様と真の父母様の体面を立てる孝子・忠臣になることを願います」と語られた。(5面に続く)



1. 出征式で語られる真のお母様
2. ピースロード2015 121カ国縦走勝利感謝牌奉呈
3. 天一国指導者特別総会決議文を奉読する
4. 真のお母様に侍り、Vision2020勝利を決意する天一国指導者



ピースロード121ヵ国縦走勝利感謝牌奉呈

この日の行事は、家庭連合・趙誠一世界本部事務総長の司会で、開会宣言、天一国歌斉唱、家庭盟誓、金起勲北米大陸会長の報告祈祷、真の父母様の入場、敬礼、朴魯熙・文蘭英特命総使夫妻の花束奉呈、文善進世界会長夫妻のピースロード2015・121ヵ国縦走勝利感謝牌奉呈、総会経過報告、全体参加者を代表した特命総使と大陸会長の決議文奉読及び奉呈、真の父母様のみ言葉、お知らせ、宋龍天日本総会長の億万歳四唱、閉会宣言、記念撮影などの順で進行された。

金起勲北米大陸会長は報告祈祷で、「天の父母様と愛する天地人真の父母様に侍り、天一国指導者特別総会出征式を挙行することができるよう祝福して下さり感謝します。真のお母様は必ず地上摂理は、ご自身の当代に完成させるという決意で70億人類救援の先頭に立っられました。この時間、私たちすべて、こうした真のお母様の心情を相続してVision2020勝利を誓い、天一国指導者の責任を果たすことができるように、導いてください」と願った。

一方、家庭連合・文善進世界会長と朴仁涉世界副会長夫妻は121ヵ国縦走を勝利できるようにして下さった真の父母様の賜物に感謝し、「121ヵ国縦走勝利感謝牌」を真の父母様に奉呈した。今回、「ピースロード2015」は、真のお母様が下賜されたピースロード旗を掲げ121ヵ国の歴史的な統一大長征を完走し、それぞれの国の指導者の支持と30万世界市民の参加を引き出した。

天一国指導者特別総会決議文奉呈

世界本部を代表して趙誠一事務総長が、天一国指導者特別総会の経過報告をした。趙事務総長は「真の父母様の指示により『天地人真の父母様の実体み言葉を相続し天一国の真の指導者になろう』というテーマで特別総会が企画・進行された」とし、「天地人真の父母様の位相と価値を確立した土台の上で、天宙聖和3周年の意味と基元節以降の摂理的経綸を深く理解して、天一国実体化のためのVision2020戦略を共有する意味深い時間を持った」と報告した。

続いて真の父母様を中心に天宙聖和3周年の意味と価値の再考を通じた「一つの方向」、Vision2020勝利という「一つの目標」、天一国指導者之和と結束を通じた「一つの心」というモットーで、文善進世界会長の開会の辞、6講座の特別講義、和合献呈「和合統一体育大会」、讃頌献呈「讃頌で一つになった私たち」、精誠奉獻「ろうそく祈祷会」、世界本部戦略の共有、特別総会出征式などのプログラムが行われたことを報告した。

一方、参加者全体を代表して13大陸会長と特命総使は真の父母様を中心に、「2015天一国指導者特別総会決議文」を奉読して奉呈する時間を持った。天の摂理の中心国家指導者である柳慶錫韓国会長、宋龍天日本総会長、金起勲北米大陸会長が「勝利された天地人真の父母様を中心に侍り、『一つの中心、一つの心、一つの方向、一つの目標』に進んで、天一国実体化のためのVISION2020を成就することを約束する」という決議文を奉読した。

宋龍天日本総会長の億万歳四唱後、真の父母様は、歴史編纂委員会で天宙聖和3周年記念行事の映像を入れて制作したUSBを見せられ、「各国にこの資料を持って行って、食口と世界の人々に見せて誇ることを要請された。」

2015天一国指導者特別総会決議文

全世界から集まった私たち天一国指導者は、真のお父様天宙聖和3周年を記念して開かれた「2015天一国指導者特別総会」を通して、勝利された天地人真の父母様を中心に侍り、「一つの中心、一つの心、一つの方向、一つの目標」に進み、天一国実体化のためのVISION2020を成就することを約束し、以下のように決議する。

- 一、天一国指導者である私たちは、天地人真の父母様の勝利圏を相続し天一国が目指す真の指導者の道を行くことを決意する。
- 一、天地人真の父母様に侍る私たちは一つである。一つである私たちは、天地人真の父母様を絶対中心に侍り、絶対信仰、絶対愛、絶対服従で忠孝の道理を果たすことを決意する。
- 一、天一国指導者である私たちは、天地人真の父母様の位相と価値を毀損する如何なる非原理的行動に対して参加したり同調することなく、天一国経典と天一国憲法の精神を遵守し、前進していくことを決意する。
- 一、天一国指導者である私たちは、天地人真の父母様を中心に侍り、2020年まで実体的国家復帰のために総力を尽くすことを決意する。

-天一国3年曆7月22日、天一国指導者一同



1.花束を奉呈される真のお母様
 2.熱い歓迎の中で入場される真のお母様
 3.Vision2020勝利を決意する天一国青年特使と天宙平和士官学校生徒
 4.報告祈祷する金起勲北米大陸会長
 5.司会をする趙誠一世界本部事務総長
 6.天一国指導者特別総会Vision2020出征式の全景

「唯一で永遠な真の父母様に侍り孝子・孝女として責任と使命を果たすべき」

文善進世界会長「2015天一国指導者特別総会」開会式で開会の辞



「2015天一国指導者特別総会」が文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念行事の一環として、天曆7月20日から22日まで(陽曆9.2~4)、天宙清平修練苑で世界平和統一家庭連合・文善進世界会長と朴仁涉世界副会長、世界平和女性連合・文妍娥世界会長をはじめ、全世界120か国から来た550人余りの指導者が参加して行われた。初日の開会式での文善進世界会長の開会の辞を要約・整理して紹介する。

真の父母様の深い心情と摂理的経綸

天一国指導者総会を開始し、まず愛する真の父母様に深い感謝と永遠の愛を捧げたいと思います。真の父母様ご夫妻は、私たちの心を動かして感動と感激で勝利の道に導いています。天宙聖和3周年を迎えて真のお父様の生涯と業績を称えると同時に、真のお母様の無条件の愛、思いやり、献身、理解と、真のお父様との深い関係を考えます。真の父母様は絶対に一つです。私たちの唯一かつ永遠な真の父母であります！

真のお父様の聖和以降、3年の間、真のお母様は、新しい困難と挑戦に直面しながら、大変な天の父母様の摂理の荷を背負って来られました。統一運動を哀悼と混乱から救うために、すべての肉身と精神の痛みを克服されました。

真のお母様は如何なる悲しみも見せることなく、すべての人々が、自分の5%の責任分担を完成して真の父母様の懐に戻ってくるという絶対的信仰を持っておられます。真のお母様は確固不動な決意で、天の父母様のすべての子女のために動揺することなく、明るい未来に向かって前進されました。Vision2020を通して真のお母様は、全世界の祝福中心家庭と全ての世代に持続的な靈感と力を与えられました。

今日も真のお母様は、70億人類に向かって無限の愛と希望を与えておられます。私たちすべての真の父母様を慰労し一つになって、懐かしさと痛みの心が癒されて愛と喜びで満たされ、天の父母様の下、人類大家族の理想に向かって前進することを望みます。

そのために、私たちは真のお母様に侍り、一体とならなければならず、真のお父様の平和・祝福・愛の遺産を相続・発展させなければならず、持続的に統一運動を展開して成功的な実りを結ばなければなりません。これがまさに、真の父母様の孝子・孝女である私たちが担うべき3つの責任分担なのです。

まず真のお母様に侍り一体となるべき

指導者の皆さん！真のお母様の生涯路程を、真のお父様の生涯路程の脈絡で祈禱をささげながら勉強してください。皆さんは、真のお母様が真のお父様の永遠の同伴者であることをより深く認識することでしょう。真のお母様の絶対的に一つになった位置を否定すれば、同時に絶対的な真のお父様の価値を毀損することになります。父母のうち一人でも否定すれば、私たちは、自らの生を否定することになります。私たちが真の息子・娘になるには、まず私たちは真の根源を知るべきです。

真のお父様と真のお母様がいなければ、私たちは何になるのでしょうか。血統も愛も理想もないでしょう。そして、私たちの中の誰も祝福を受けられなかったでしょう。私たちすべては、真の父母様のみ言葉と教えに従い、真の孝子となる方法を学びながら、今、地上におられる真のお母様に侍り、一体となっていかなければなりません。

私たちは皆、完璧ではないので、成長過程を経なければなりません。愛の学びの場の中で身もだえ成長する過程で、成長痛を経験するかもしれません。今後しばしば、最善の方法をめぐる困難と意見の違いと議論があるかもしれません。これは自然な現象です。私たちは、意見の相違が分裂と破壊につながらないように注意する必要があります。

意見の相違が発生したとき、私たちは、真の父母様の指導に従うために生きる真の愛を実践し、謙虚な姿勢が必要です。個人の目標より全体の目標を追求すべきです。こうした指針に従えば、個人と団体と統一家庭全体が、意見の相違に対する解決規定を立てることができます。大変で複雑な状況の中でも一体をなすことができる道を探ことができ、如何なる状況でも、人類を愛することができるようになります。

真の父母様が教えてくださった真の愛は、紛争と分裂のあるところに表われることはできず、家庭と真の愛の価値が毀損された場にいることはできません。紛争と分裂は神様の摂理を妨害します。私たちは、真のお母様と一体をなし、天の父母様、真の父母様、真の愛、平和、許しを求めて紛争を克服し、一体を追求しなければなりません。(7面に続く)

第二に真のお父様の平和・祝福・愛の遺産を相続・発展させるべき

二番目に強調したいのは、真のお父様の平和・祝福・愛の遺産を相続・発展させなければならないということです。真の父母様は、祝福と愛の炎で全世界を明るくするために、あなたのすべての情熱、エネルギー、そして血と汗と涙を投入されました。私たちは、真の父母様がくださったその聖なる炎を持って伝道のために生きる生を實踐し、その炎がより明るく、より広く照らす必要があります。

皆さんの入教逸話は、私たちにはあまりにも貴重な話です。これで分かるように一対一伝道方式は、教会成長にとって常に重要な部分になります。一方、現世代は、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を通して、深い影響を受けています。

真の父母様と私たちの世界的運動に、他の人たちを連結するために伝道、広報、共同体構築などのような伝統的方法と共に、現在のトレンドに従うことができなければなりません。つまりSNSを活用して真の父母様のみ言葉を広めることができなければなりません。このようにして統一家の基盤をより広く構築し、多くの人々を真の父母様と私たちの共同体に連結することができます。世界は急速に変化しています。私たちは、伝統と核心アイデンティティに忠実ではあるものの、私たちが生きる世の中の状況を把握しなければなりません。私たちは特に、宗教に関心がない大多数の若い人たちに近づくことができる新しい方法を発展させるために、より創造的で革新的である必要があります。

統一運動が続くことができた生命の源は真の父母様であり、私たちの最も貴い伝統は真の父母様のみ言葉と訓誥会です。真の父母様の伝統を中

心に、真の愛の文化を創造すれば、私たちは周りのすべての人たちに靈感と希望を与えることができます。真のお父様の平和・祝福・愛の遺産を相続・発展させていけば、私たちは真の父母様の光と共に輝くでしょう。

第三に持続的統一運動の展開で成功的実り結ぶべき

第三に私たちは、持続的統一運動の展開で成功的実りを結ばなければなりません。真の父母様は、短い時間に、できるだけ多くの人々に天の摂理を知らせるために、多くの摂理機関と企業を立てられました。真の父母様は決して宗教の垣根だけにとどまりませんでした。各分野で「天の父母様の下の人類一家族」のビジョンを実現するために全力を尽くしました。

この目標を完全になすために、私たちは持続的に統一運動を展開し、成功的実りを結ばなければなりません。特に、摂理機関の中の非営利団体は、その特性に合った組織管理方式、資金調達、人的資源管理、広報、企画などの分野で専門的な能力を備えなければなりません。

真のお母様がなし遂げられた大きな成果の一つが、天一国憲法と経典を完成し、天一国最高委員会のような天一国の基礎となる組織的な枠組みを構築したことです。その他にも、天一国定着のための他の分野のことも進められています。これらのすべての内容は、真のお母様の賢明なリーダーシップを証しています。

兄弟姉妹の皆さん！皆さん各自が引き受けた責任と使命に忠実であることを願います。さらに真の父母様を中心として一つの家庭として共に統一家共同体を発展させるために努力しましょう。私たちの目標は、真の父母様が築

かれた基盤の上に、持続的統一運動を展開し成功的実りを結び、真の父母様に喜びと栄光をお返しすることです。

私たちの核心的な利点を記憶すべき

真の父母様は、天のみ旨をなし遂げるために、一生涯、無限の情熱と献身を投入されました。どうしてそうすることができたのでしょうか。それは真の父母様が、天の父母様に対する絶対信仰・絶対愛・絶対服従の完璧な人生を生きて来られたからです。真の父母様は、絶対に天の父母様と一つになられた永遠で神聖な存在であります。

真のお父様は、地上で一生を神様の解放と人類救援のために、真理のみ言葉を教えてくださり、天の聖業をなすためにその方のすべてを投入しました。真の父母様のこうした情熱は、真の愛から始まりました。真の愛がなければ、私たちの生は暗く絶望的です。したがって、真の父母様から相続されるべき最も貴いものは、実践的眞の愛です。

眞の生命の本質は眞の愛です。眞の愛を相続した私たちは、眞の生命を伝える使命を果たす必要があります。そうした召命意識を持って、Vision2020と天一国実体化を実現させましょう。眞の父母様に侍り、世界家庭共同体と一緒にあるということは、大きな祝福です。天上におられる眞のお父様と地上におられる眞のお母様が私たちに誇りに思うことができるように、最善を尽くしましょう。天の父母様と眞の父母様に対する皆さんの愛と献身、そして心からの努力に非常に感謝します。天の父母様と眞の父母様の祝福が、皆さんの家庭に永遠に一緒にあることをお祈りします。<記事提供：世界本部>



1.花束を奉呈される文善進世界会長と朴仁涉世界副会長
2.天一国指導者特別総会に出席した文妍娥世界会長と鄭元周首席補佐官
3.文善進世界会長のみ言葉を聞く天一国指導者ら
4.2015天一国指導者特別総会開会式の全景



宇宙聖和3周年記念「2015天一国指導者特別総会」開催

「天地人真の父母様の実体み言葉を相続し天一国の真の指導者になろう！」

「2015天一国指導者特別総会(以下、特別総会)」が文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念行事の一環として、天曆7月19日から22日まで(陽曆9.1~4)、世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)文善進世界会長と朴仁渉世界副会長、世界平和女性連合・文妍娥世界会長をはじめ、全世界120カ国から来た550人余りの指導者が参加して天宙清平修練苑で行われた。

特別総会は「天地人真の父母様の実体み言葉を相続し、天一国の真の指導者になろう！」というテーマで、真のお父様宇宙聖和3周年の摂理的意味を噛み締め、天地人真の父母の位相と価値を確立し、天一国指導者が真の父母様を中心に和合し結束して、実体天一国創建に向けてVision2020勝利を決意するための場として準備された。

統一家の3つの責任分担完遂要請

初日の開会式は趙誠一世界本部事務総長の司会で、開会宣言、天一国歌斉唱、石俊溟宣教会財団理事長の報告祈祷、アン・ジュンソク世界副会長の歓迎の辞、花束奉呈、文善進世界会長のみ言葉、趙誠一事務総長の総会の趣旨及び日程紹介、小山田秀夫特命総使の億万歳三唱、閉会宣言の順で進行された。

文善進世界会長は開会式のみ言葉で「真の父母様の人類に対する深い心情と実体天一国完成のための摂理的経綸」について説明し、「私たちは第一に真のお母様に侍り一体とならなければならず、第二に真のお父様の平和・祝福・愛の遺産を相続・発展させなければならず、第三に持続的に統一運動を展開して成功的な実りを結ばなければならず」と、真の父母様の孝子・孝女として備えるべき3つの責任分担を完遂することを呼びかけた。

これに先立ち、石俊溟理事長は報告祈祷で「天の父母様の実体として真の父母様ご夫妻が、最終一体をなし遂げ、天一国憲法の発布と3大經典の編纂を通して、天一国の民としての生の指針を下され感謝する。天の前に忠孝の道理を尽くして実体天一国を完成する偉大な路程において、私たちが神氏族メシヤの使命と役割を果たすことができるように、導いてください」と願った。

アン・ジュンソク世界副会長は歓迎の辞で、「真の父母様を知らない人類を一日も早く、真の子女の位置に探し立てて天一国実体

化をなすべき時に、天一国指導者を特別総会に集めてくださり、新たに決意して出発することができるきっかけを備えられた」と真のお母様への感謝と尊敬の心を伝え、参加した指導者を歓迎した。

真の父母様位相確立と 摂理的認識及びビジョン共有

特別総会では、「真の父母様の位相と価値」「宇宙聖和3周年の意味と基元節以降の摂理的経綸」「天一国実体化のためのVision2020戦略」などをテーマに特別講演が行われた。

金榮輝天議苑長が「天地人真の父母様の位相と価値(1)」というテーマの講演で、「天地人真の父母様は、天の父母様が堕落していないアダムとエバとして創造された一人子と一人娘であり、イエス・キリスト以降、再び送られた人類の再臨メシヤ・救世主・真の父母である。また、天地人真の父母様は、天の父母様と一体となった人類の祖先であられる」と明らかにした後、「地上と霊界のすべての堕落人間は、祝福結婚を通して天地人真の父母様の子女とならなければならない。地上と霊界のすべての人類は、天の父母様を中心とした兄弟姉妹であり、天一国国民として天地人真の父母様と一つになり、段階的に天一国を発展させなければならない」と語った。

柳慶錫会長は「宇宙聖和3周年の意味と基元節以降の摂理的経綸」というテーマの講演で、「真のお父様宇宙聖和3周年は、侍墓精誠が終わる期間である。真の父母の子女である人類が侍墓精誠をささげなければならないが、真のお母様が人類の代わりに侍墓精誠を捧げられ、人類を赦し愛された」と感謝と尊敬の思いを伝えた。

続いて「天一国時代は、天の父母様に侍る侍義時代で、天の父母様の実体である天地人真の父母様が摂理を経綸される時代だ。基元節は天地人真の父母様の新しい時代経綸の出発であり、その後は天一国が実体化される時代」と現時代を摂理的に規定し、「真のお父様は真のお母様と一緒に、人類の真の父母として天一国を開国していただき、真のお母様は真のお父様と一緒に天一国の先頭に立たれて実体化していかれる。このような時を迎え、統一家の祝福家庭と食口は神氏族メシヤの使命を必ず果たさなければならない」と促した。(9面に続く)



1. 聖燭伝授する文妍娥女性連合世界会長
2. 特別講義する柳慶錫会長
3. 特別講義する金榮輝天議苑長
4. 世界本部宣教戦略を共有する趙誠一事務総長
5. 天一国指導者特別総会参加者

真の父母と天一国実体化のビジョン

宋龍天日本総会長は「天一国実体化のためのビジョン2020戦略」というテーマで講演した。宋日本総会長は「基元節と天一国実体時代を迎えた後、統一家が進むべき方向と目的地は、よりはっきりと決まった」とし、「統一運動は、単に個人と家庭、氏族を越えて国家と世界に具体的に貢献する姿を見せることにより、天一国建設のための社会的基盤、さらに国家復帰のための実質的土台を準備しなければならない」と強調した。

一方、「天地人真の父母様の位相と価値」というテーマに関してアンドリュー・ウィルソン博士とテイラー・ヘンドリックス博士、そしてユン・ヨンホ博士などが講演した。ウィルソン教授は「イエスの未完結使命完成、人類救援、神様の王国(天一国)の基盤構築、神様の解放という真の父母としての使命完遂のためには、真のお母様の努力が不可欠であった」と指摘し、「このような使命を完全に果たされた真のお母様に対して畏敬の念を持たなければならない」と強調した。

ヘンドリックス博士は「聖書的教えによると、メシヤは父の権威を持って顕現し、母の神の位置にいる方、すなわち、実体聖霊に出会い真の父母の位置を復帰することになる」とし、「真のお母様の位相と権威をはっきりと知り、真のお父様の遺産と未来に対するビジョンを正確に理解する必要がある」と語った。

最後にユン・ヨンホ博士は「真の男性(真の父)と真の女性(真の母)を指す『真の父母』という思想は、復帰摂理史の核心概念であり、『真の父母』に対する完全な理解は、男性と女性をそれぞれ強調した西洋(遊牧文化:「天崇拜」と東洋(農耕文化:「地崇拜」)の文明史と宗教史を通して再照明したとき、より深く理解することができる」と説明した。

讃頌奉献・和合奉献・精誠奉献

二日目の夕方には、「讃頌で一つになった私たち」というテーマで讃頌奉献プログラムが進行された。天心聖歌隊の壮大かつ美しいハーモニーは、真のお父様を慕うすべての参加者の心情を熱くし、心深い感動を伝えた。

鄭元周首席補佐官は、「慕わしさの書簡」を奉読して真のお父様に侍り、摂理の第一線でお父様の真の愛と真の心情を感じた時代を回想し、天上におられる真のお父様に「真のお母様と一つになって、この地に天一国の根を下ろして実を結ぶ」という心情の報告を行った。また、文相弼韓国CARP会長は切実な慕わしさを込めて「父の祈り」を奉読し、真のお父様の遺業を相続・発展させることを約束した。全世界の摂理現場でVision2020勝利に向かって歩む天一国指導者は「讃頌奉献」を通して、夢に描いた信仰の祖国で真の父母様の心情を感じ、讃頌を通して天一国の心情文化を体恤し、天に喜びと栄光を奉献する恵みの時間を持った。

三日目には、和合奉獻のための「和合統一体育大会」が清心平和ワールドセンターで進行された。体育大会は、誰もが一緒に和合できる明朗運動会として開始された。昼食後、特別総会全体参加者は、真の父母様と呼ばれて天正宮に移動して、文善進世界会長を中心にユンノリをして和動する時間を持った。

この日の日程を終えて、「精誠奉獻」のためのろうそく祈禱会が行われた。真のお父様への限りない愛で真のお母様が精誠を捧げられる時に使用された聖燭を、文妍娥世界平和女性連合世界会長が全世界の特命総使と大陸会長に伝授された。この日伝授した聖燭には、感謝、懺悔、使命、平和、心情、天上の先祖解怨と地上の子孫完成、希望などの意味が込められている。天一国指導者は伝授されたろうそくを持って、世の中に真の愛の光を照らし神氏族メシヤの使命とVision2020勝利のために前進することを約束した。

摂理的経綸に従う実体天一国基盤拡大

四日目の午前には、世界本部・趙誠一事務総長が出征式を前に、世界本部戦略発表を行った。趙事務総長は、まず世界本部組織に関する最近の天地人真の父母様のみ言葉を引用し、世界平和統一家庭連合世界本部が企画調整室傘下の行政支援局、宣教支援局、教育支援局に改編されたことを明らかにした。今後、世

界本部企画調整室は宣教企画、人材育成企画、研究企画、経営企画、特別企画などを行うことになる。

趙誠一事務総長は、世界の主な宗教の現状を報告した後、「現在の統一家の教勢では、2020年まで爆発的な伝道が起こるとしても、世界宗教に編入されるのは難しい。したがって、真の父母様のみ言葉をより迅速に伝えるための世界宗教基盤確立が必要である」と指摘した後、「世界宗教位相確立のために、韓国宗教人平和会議(KCRP)、アジア宗教人平和会議(ACRP)、世界宗教人平和会議(WCRP)に登録して戦略的に協力していかなければならない」と語った。

また、趙誠一事務総長は、聖和ブランディングとニューメディア宣教事業の重要性を強調し、今後、世界本部と天公苑がTFTを構成してニューメディア宣教戦略を樹立し、グローバルホームページを構築する計画であることを明らかにした。この他にも、趙事務総長は天一国研究院、天一国人材開発院、世界本部経営戦略樹立などに関連して、現在まで企画・進行中の内容について共有した。

一方、特別総会期間中、早朝訓読会の時間には、鮮鶴平和賞報告、大陸報告、天一国5苑及び憲法、天議苑報告などが行われた。大陸報告では、朴魯熙特命総使が欧州大陸の活動報告を、龍鄭植特命総使がアジア大陸の活動報告を行った。〈記事提供:企画広報局〉



1.大陸報告をする朴魯熙欧州特命総使
2.大陸報告をする龍鄭植アジア大陸特命総使
3.特別講義をするアンドリュー・ウィルソン博士
4.特別講義をするテイラー・ヘンドリックス博士

5.講義を聞く天一国指導者ら
6.讃頌奉獻を導く天心聖歌隊
7.ユンノリ大会進行の様子
8.和合統一体育大会の様子

統一グループ文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念報告会開催

金乙東セヌリ党最高委員とチョン・テイク韓国外交協会会長など約600人参加



世界基督教統一神霊協会維持財団(以下、統一グループ)主管「文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念報告会」が天曆7月22日(陽曆9.4)、ソウル・ロッテホテル2階クリスタルボールルームで開催された。この日の行事には、金乙東セヌリ党最高委員、チョン・テイク韓国外交協会会長をはじめ、統一グループ系列会社、世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)、天宙平和連合などの機関企業から招待された600人余りのVIPが参加し、真の父母様の真の愛と世界平和のための活動と成果を称えた。

真のお父様の生涯業績称え 感謝と尊敬の意伝える

チェ・ユンギ統一グループ理事長は挨拶で、「今回、天宙聖和3周年を迎え鮮鶴平和賞、ピースロード2015世界大遠征、WORLD SUMMIT2015などの記念事業を通して文鮮明総裁の業績が、再照明され再評価された」とし、「これを皆さんに知らせることができる報告会の時間が準備されて感謝する。これからも皆様の温かい関心を願う」と、参加者に感謝の言葉を伝えた。金乙東セヌリ党最高委員は、「文鮮明総裁は『韓半島平和がまさに、世界平和の近道』と常に語られた」と明らかにした後、「総裁は、私たちの心の中にいつも一緒に生きておられる。総裁の意を奉じ、非武装地帯にUN第5事務局を誘致するための活動をしてきた。今後も文総裁の遺業をなし遂げるために最善を尽くしたい」と追悼の辞に代えた。

チョン・テイク韓国外交協会会長は追悼の辞で「文鮮明総裁は韓国が生んだ世界的な宗教指導者であられ、平和運動に一生をささげられた方だ。文総裁は、平和世界建設のために国際平和高速道路建設を提案され、日韓トンネルとベーリング海峡を中心とした国際平和高速道路ビジョンを込めて、ピースロードが発足された。私は世界平和トンネル財団と出会った後、文総裁の平和ビジョンを知るようになり、その遠大な理想は、私の心を躍らせた。文総裁がとても懐かしい」と真のお父様への尊敬と懐かしさの心情を伝えた。

柳慶錫家庭連合韓国会長は「文鮮明総裁天宙聖和3周年記念報告会に参加して下さった皆様に心から感謝する。韓鶴

子総裁も、今日の行事開催の知らせを聞いて陰に陽に支援して下さり、『皆さんの関心と参加に感謝の意を伝えてほしい』と言われた」とVIPを歓迎した。

続いて、柳会長は文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念事業のメイン記念式行事、第1回鮮鶴平和賞、2015ピースロード世界縦走完了式などの主要行事と、各摂理機関で行われた行事を詳しく報告した後、「平和と統一に対する真のお父様の生涯」を参加者に証した。

天宙聖和3周年メディア報道に大きな関心

安豪烈本部長は、天宙聖和3周年記念行事マスコミ報道の現状を報告した。安本部長が天宙聖和3周年記念式をはじめ、第1回鮮鶴平和賞、ピースロード2015など統一家が天宙聖和3周年を迎えて開催した記念行事に対する報道機関の報道内容を共有すると、参加者らは大きな関心を見せた。この日の記念報告会は、安豪烈統一グループ大会協力本部長の司会で、開会宣言、黙禱、天宙聖和3周年ビデオ上映、讃頌、チェ・ユンギ統一グループ理事長の挨拶、金乙東セヌリ党最高委員の追悼の辞、チョン・テイク韓国外交協会会長の追悼の辞、柳慶錫家庭連合韓国会長の天宙聖和3周年の活動紹介、安豪烈本部長の報道報告などの順で進行され、黄善祚鮮文大学校総長の勝利提議で晚餐が始まった。

行事に参加したVIPは真の父母様が真の愛を実践し、世界平和のために歩いて来られた足跡を収めたビデオを視聴して、故人を称える追悼の時間を持ち、天心合唱団が美しい旋律で『立ち上がれ』と真のお父様が良く歌われた『愛しています』『ホルロアリラン』『オンマ・ヤヌナヤ』などをメドレーで歌い、参加者に感動を与えた。真のお父様天宙聖和3周年の2015年は、侍墓3年精誠の最後の年で脱喪の意味がある。特に今回の天宙聖和3周年記念式に、北朝鮮の金正恩国防委員会第1委員長が追悼メッセージを、金養建朝鮮アジア太平洋委員会委員長が追悼の花輪を送り、南北統一のための真の父母様の過去の業績を改めて確認することができた。〈記事提供:統一グループ対外協力本部〉

1.挨拶をするチェ・ユンギ統一グループ理事長
2.天宙聖和3周年活動紹介をする柳慶錫韓国会長
3.追悼の辞を述べる金乙東セヌリ党最高委員
4.追悼の辞を述べるチョン・テイク韓国外交協会会長

5.勝利提議をする黄善祚鮮文大総長
6.言論報告をする安豪烈対外協力本部長
7.祝歌を歌う天福宮教会天心聖歌隊
8.天宙聖和3周年記念報告会の全景



天宙聖和3周年…韓国教会・懺悔と復活の中でビジョン2020勝利決意！



愛の分かち合い連合礼拝を全国4圏域で開催(首都圏、天曆7月30日、ソウルオリンピック・フェンシング競技場)
 新食口歓迎祝祭 天曆8月7～8日首都圏・中部圏、嶺・湖南圏、青年学生対象

世界平和統一家庭連合韓国協会は真のお父様天宙聖和3周年を迎え、愛の分かち合い連合礼拝と新食口歓迎祝祭を通して懺悔と反省、召命に対する決意と復興の時間を持つ。

「ピースロード2015世界大長征」を皮切りに、過去3ヵ月間行われた「文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年」記念行事は、「平和で世界を連結しよう」というテーマで天曆7月17日(陽曆8.30)、清心平和ワールドセンターで開催された記念式で頂点に達した。

天宙聖和3周年記念式を基準に、前半行事が平和理想世界建設に対する真のお父様の業績を中心としたものとするれば、後半は祝福家庭の信仰的懺悔とみ旨に対する省察、そして神氏族メシヤとしての使命完遂に対する決意を固いものとする期間として設定されている。

愛の分かち合い連合礼拝・ 愛の分かち合い祝祭延べ12万人参加

「愛の分かち合い連合礼拝」(以下、連合礼拝)は、天曆7月30日(陽曆9.12)午前10時30分、ソウルオリンピック・フェンシング競技場で、首都圏教会を中心に開催され、続いて嶺南圏(陽曆10.4釜山ベクスコ・コンベンションホール)、中部圏(陽曆10.25、牙山・李舜臣体育館)、湖南圏(陽曆11.1、光州金大中コンベンションセンター)で順次開催される予定である。

韓国協会は延べ3万人が参加する今回の連合礼拝を通して、真の父母様の愛と平和の生を隣人と共に分かち合い、聖和節の意味を噛み締め、光復70周年を迎えて、世の中の痛みを癒す宗教として平和と統一の時代を開く一方、懺悔と赦して新たな出発と跳躍の場とする計画である。なお、全国22教区が参加する今回の連合礼拝では、各圏域ごとに約200人の連合合唱団が構成され、真の父母様に対する尊貴と栄光、祝福家庭のお互いに対する悔い改めと心を開く讃頌をする。また、歴代協会長の回顧談を通して真の父母様の心情を体恤する場と、一世と二世が一つになって天一国実現の夢を描いていくことができる和合の場を用意することになる。

一方、愛の分かち合い祝祭が祝福家庭と食口、平和大使、新食口、地域住民など延べ9万人が参加する中で、全国教区と教会で8月と9月中に行われる予定である。天曆7月10日(陽曆8.23)、聖日を迎えて忠北教区清州教会、光州教区光州教会、ソウル東部



ソウル東部教区広津教会愛の分かち合い祝祭



女性連合広津支部の奨学金伝達式



姉妹結縁後に記念撮影するベラルーシ二世と軍浦教会成和学生



清州教会愛の分かち合い祝祭の全景

教区広津教会、京畿南部教区平沢教会と軍浦教会、海洋教区海洋教会などで愛の分かち合い祝祭が行われた。

この日、清州教会では、愛の分かち合い祝祭を通して脱北者25家庭と多文化15家庭に、各家庭10kgずつ、合計400kgの米を渡した。また、平沢教会は「愛の分かち合い祝祭礼拝及び第6回讃頌礼拝」を真の父母様の伝統と心情を相続するためのオープン礼拝形式で進化した。軍浦教会では、愛の分かち合い祝祭礼拝後、ベラルーシ二世成和学生と軍浦教会成和学生間で姉妹結縁式を持った。一方、広津教会は「ご飯が愛である」というテーマで、愛の米分かち合いの一環として餅12斗を隣人に配り、世界平和女性連合広津支部は、学生11人に奨学金を渡した。

新食口歓迎祝祭・教会定着のきっかけ作る

「新食口歓迎祝祭」が天曆8月7日から8日まで(陽曆9.19～20)、「心情で一つになる幸せな出会い！私たちは家族です！」というテーマで、新食口が教会に

定着できるきっかけをつくるために4つの圏域で進行される。

新食口歓迎祝祭は、各地域の新食口と霊の親を招待した中で、天宙清平修練苑・親和教育観B館(首都圏・中部圏共同)、麗水清海研修院(湖南圏)、星州伽耶山観光ホテル(嶺南圏)などで開催される予定である。

今回の歓迎祝祭は圏域別に進行するが、プログラムは同一である。最初の日には、開会式と共に、歓迎行事、人生特講(「何が人生を有意義にするか」)、聖地巡礼(自然を通して出会う天の父母様と真の父母様)、心情和動会が繰り広げられ、二日目には、訓読会、清心苑祈祷(首都圏・中部圏)、幸せ特講(湖南圏、嶺南圏)、グループ別集会(家族幸福宝地図を描く)、新生命祝祭礼拝などのプログラムが進行される。

真のお父様天宙聖和3周年を迎えた秋季諸般の行事を通じて、韓国家庭連合はVision2020摂理勝利に対する内外の環境基盤定着の基盤を強固にする一方、今後4年間続く摂理の新しい転機を作る計画である。<記事提供:伝道教育局>

家庭教育講師養成プログラム「理想家庭コーチング講師養成」主題

文妍娥世界会長「祝福家庭の本質」説明・13大陸90人余り参加

「家庭教育講師養成プログラム」が天曆7月18日から19日まで(陽曆8.31~9.1)、世界平和統一家庭連合世界本部主催、韓国・日本協会家庭局共同主管で、全世界13大陸の家庭局長と家庭使役者など90人余りが参加して、天宙清平修練苑・親和教育館B館で開催された。

「理想家庭コーチング講師養成」というテーマで開催された今回の行事は、祝福家庭共同体のアイデンティティ確立、現場家庭使役者能力強化、各現場に合った理想家庭プログラムの開発能力向上、国際祝福行政手続及び様式の世界標準設定などのために企画・進行された。

専門性と持続的管理計画目立つ

初日午前9時に行われた開会式は、世界本部ヨン・ジノン教育局長と韓国協会ホン・ソンボク家庭局長を中心に、大陸別参加者の紹介と全体日程に関するオリエンテーションが行われた。

ヨン・ジノン局長は「今までは一方的な詰め込み式教育だったが、今回はさまざまな『ツール』を利用して、参加者の性向を科学的にチェックして統計を出し、自分と相手の姿とタイプを知って、どんな価値観を持っているか分析することができる」と説明し、「今回の教育プログラムを履修すれば、相手がどんなタイプかを把握し、どんな方法で相手に近づき、会話すべきかを知ることができ、より賢く家庭関係を形成できるようになる」とプログラムの利点を説明した。続く「私の心を探る旅」の時間には、シン・ヨンスク、ナ・オリ家族相談センター院長が動画、祝福満足度検査紙、自尊心検査紙、活動紙などを活用して、家庭教育プログラムを進行した。シン院長は「幸せな生活をしなければならない祝福家庭が葛藤の中で生きている姿を見ながら、切ない思いがして夫婦プログラムを作ることになった」とし、「私」を知って相手の個性と人格を尊重し、これを理解するために努力しなければならない」と強調した。

それ以外にも、鮮文大学校チェ・ビョンイル教授は「私と家庭理解」というテーマで自己発見プログラムを通して個人の性向を分析し、家庭を管理する方法を講義し、天福宮教会ヤン・チャンス牧師は「祝福家庭のアイデンティティ」というテーマの講義で「統一教会の救援観は、真の家庭完成」であり「夫婦の愛は天一国創建の母体」と強調した。

天の父母様が臨在できる家庭となるべき

二日目には、チェ・ビョンイル教授の「愛の通帳作り」、ヤン・チャンス牧師の「夫婦の絶対性」、シン・ヨンスク院長の「夫婦の心疎通」と「対話の技法」そして「幸せな理想家庭のための家族設計」などのプログラムが進行された。

チェ・ビョンイル教授は関係の変化のためのコミュニケーションの重要性を強調し、ヤン・チャンス牧師は真の父母様のみ言葉から見た絶対性の意味と価値について説明した。続いてシン・ヨンスク院長は「コミュニケーションを通して様々な誤解と過ちを認識し、配偶者の感情を理解して共感することにより、お互いに対する信頼感を強化していかなければならない」と語った。

一方、文妍娥世界平和女性連合世界会長は閉会の辞を通じて「真の父母様を中心とした伝統と血統の大切さ」を強調し、「天の父母様のすべてのことを私たちに伝えてくださった方は、歴史の中で真の父母様しかないと感謝と尊敬の心を伝えた。

続いて「真の父母様が私たちに与えられた祝福は、ただ男と女の幸せだけを意味するものではない。祝福を受けた私たちは、天の父母様と真の父母様に常に侍って生活しなければならない」と強調し、「真のお母様は誰かに会われる時や、美しい自然の風景を見た時、食べ物に対する時にも、天の父母様と苦勞した努力を考えられる。単にある現象だけを見られるのではなく、より本質的なことに関して、天と連結させられる」と真のお母様を証した。

最後に「家族の中に足りない部分があるメンバーがいれば、どうしても助け理解し支援して、満たしてあげようになっている。世界から来た家庭使役者は、そのような心情で現場で祝福家庭と食口に接し、努力してもらいたい」と述べた。

今回の行事に参加した各国の家庭局長と家庭使役者は、「複数の講師の教育を通して『私』をより深く知り、相手を理解できる方法を学べて良かった」「夫婦間の関係や家庭的困難が『私』の変化を通して解決できることが分かった」「対話と疎通のために有用な方法を学ぶことができ意味深かった」「文妍娥世界会長のみ言葉を通して家庭使役の重要性をもう一度認識して、進むべき方向が設定できた。感謝する」などの感想を述べた。〈記事提供：家庭局〉



1.開会式で語る文妍娥世界会長
2.開会式で語るヨン・ジノン世界本部局長
3.み言葉を語るホン・ソンボク韓国協会家庭局長

4.世界から来た家庭局長と家庭使役者
5.家庭教育講師養成プログラム後の団体記念撮影

2015天宙聖和3周年教会成長カンファレンス開催

韓国教会成長プログラムに世界教会注目・海外牧会者体験

摂理の宗主国韓国教会成長のエンジンの役割をしてきた能力強化プログラムが、天曆7月22日(陽曆9.4)に開催された「教会成長カンファレンス」(以下、カンファレンス)で、全世界の牧会者に紹介された。

世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)柳慶錫韓国会長はVision2020勝利と韓国教会成長のために、最近3年間進めてきた3大革新(組織・能力・環境)の中で、能力部門を向上させるコアプログラムを天一国特使及び海外牧会者が体験・共有することができるカンファレンスを準備するように要請があった。

これにより、伝道教育局(申仁先局長)は、天曆7月22日から24日(陽曆9.4~6)まで天宙清平修練苑・親和教育観(B館)で、教会成長カンファレンスを開設した。天一国特使と宣教師、そして海外牧会者を中心とした約100人の参加者は、毎日2つのプログラムのうちの1つを選択し、現場中心の生き生きとした事例を直接確認・体験する時間を持った。

初日の午後1時30分に行われた開会式は、伝道教育局イ・ジュン次長の司会で、開会宣言、敬礼、天一国歌斉唱、ソ・インニョン大邱教区長の報告祈禱、申仁先局長のみ言葉と祝禱、閉会宣言の順で進行された。

申仁先局長は開会の辞で、「救世主・メシヤ・平和の王として来られた真の父母様を世界の前に正しく伝え、家庭連合食口として伝道するためには、み言葉に立脚した体系的なシステムとプログラムが切実に要求される」と前提し、「2泊3日間のカンファレンスを通じて、韓国教会が世界牧会者と共有しようとするものは、現場で開発、検証、活用されている最優秀プログラムである」と紹介し、「今回の期間を通じて、実体天一国創建のための分かち合いと共感が共にあることを期待する」と述べた。伝道教育局は、2泊3日間「伝道・養育・祝福・使役」など信仰成長システムに応じた6つの能力強化プログラムを準備し、海外から来た天一国指導者が、各宣教現場に合ったプログラムを選択して体験することができる場を用意した。カンファレンス初日には、「伝道センターシステム」(大邱教区)と「伝道定着及び養育」(本部教区)に関するプログラムが進行され、二日目には「CIG宣教学校」(京畿北部教区)と「訓読家庭教会」(蔚山教会)、三日目には「天一国伝道システム」(忠南教区)と「神氏族メシヤリーダーズスクール」(鮮文大学校キル・ヨンファン教授)などが行った。〈記事提供:伝道教育局〉



2015天宙聖和3周年教会成長カンファレンス開会式後の団体記念撮影

2015天宙聖和3周年世界代表家庭聖地巡礼

世界・韓国代表各22家庭 真の父母様の心情相続と使命完遂誓う

「2015天宙聖和3周年世界代表家庭聖地巡礼」が、天曆7月22日から24日まで(陽曆9.4~6)「真の父母様の足跡をたどるボムネッコールから天正宮まで」という題で韓国代表22家庭、世界代表22家庭など88人が参加して実施された。

今回の聖地巡礼に参加した韓国代表22家庭は、礼拝参加と献金生活をはじめ、信仰生活の見本となり、最近3年間で伝道3人、祝福3家庭以上した祝福家庭の中で、各教区1家庭ずつ選抜され、世界代表22家庭は大陸本部別に人員を割り当て、信仰生活の模範となる祝福家庭の中から選抜した。

世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)韓国協会が主管する聖地巡礼は、真の父母様の摂理的足跡をたどる代表家庭が真の父母様の心情を相続して、神氏族メシヤの使命完遂を誓うための場として企画された。さらに、夫婦参加を通して一緒に信仰の旅をするようにし、普段より心情的に深く対話し、成熟した信仰の道を同行するきっかけを作ろうという趣旨もあった。

本格的な巡礼路程に先立ち、第1組は釜山教区釜山教会、第2組は海洋教区麗水教会で開会式を開催した。李現榮家庭連合副会長は釜山教会での開会式のみ言葉で、「天宙聖和3周年が過ぎた。真のお父様が与えられたビジョ

ンと理想は、私たちの責任となった」とし、「これから祈るときには、真のお父様の遺業を相続して、どれだけ実践したのかを報告しなければならない。その心を持って出発することが、今日の聖地巡礼だ」と聖地巡礼の意味を説明した。

バン・スンマン院長は青海研修院での開会式のみ言葉で「青海研修院と麗水一帯は、真の父母様の海洋摂理の総体的完成のために23時間40分間、訓読精誠を捧げられ、荒波と戦われて釣り精誠を捧げられた歴史的な現場である」と紹介し、「世界代表家庭がここで人類に対する真の父母様の深い愛を体恤し、実体天一国時代の真の孝子・孝女となることを願う」と述べた。

聖地巡礼主管部署である韓国協会家庭局は、全国主要聖地9カ所を2泊3日の日程と巡礼の趣旨に合わせて2つのコースに分け、各聖地巡礼チームは6つの聖地を訪問した。

△第1組(世界代表家庭)は、釜山ボムネッコールをはじめ、聞慶セジェ・ソウル黒石洞-青坡洞前本部教会-天宙清平修練苑-天正宮-野牧教会、△第2組(韓国代表家庭)は、麗水青海ガーデンをはじめ、公州甲寺-ソウル黒石洞-青坡洞前本部教会-天宙清平修練苑-天正宮-坡州原殿を巡礼した。〈記事提供:家庭局〉



1.釜山教会で開会式後の団体記念撮影
2.釜山ボムネッコール第1聖地で記念撮影する第1組聖地巡礼団
3.青海研修院で記念撮影する第2組聖地巡礼団